

学校再開に向けた新しい学校生活様式について

日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、学校再開に向けて、感染予防の観点から『新しい学校生活の様式』（別紙参照）を基本に子どもたちに指導してまいります。子どもたちが健康で元気に学校生活を送れるよう、ご家庭でも睡眠や食事等、基本的な生活習慣の維持や手洗いなどの感染症予防についても、ご理解ご協力をお願いいたします。

学校での基本的な留意点

- ①家庭で健康観察・体温を測り、登校時に健康観察票を持参させてください。**カゼ症状がある場合は、無理して登校せずご家庭でゆっくり休養を**させてください。また、**平熱が36℃台にも関わらず、朝から37℃以上ある場合にも、ご家庭で様子を見るように**してください。**熱や症状が少しでもある場合は早退**して頂きますので、ご理解ご協力をお願いします。
- ②来客用に1号館、3号館の入口2ヶ所に手指消毒用アルコールを置きます。生徒下校後は、教室や廊下など、職員による**次亜塩素酸ナトリウム液を用いた消毒を実施**します。生徒は文部科学省からの通知に基づき、**流水と石けんによる手洗いを基本**とします。登校後、昼食前、トイレや掃除の前後など、こまめな手洗いを呼びかけます。必ず**洗濯したハンカチを持たせてください**。
- ③**登校時にはマスクの着用**をお願いします。やむを得ずマスクを外す場面では、咳エチケットを守るよう指導します。また、マスクを付けられない場合等がありましたら、学校へご相談ください。
- ④**教室の窓は、出来る限り全開で授業を行います**。天候により難しい場合は、換気扇、扇風機、クーラーを併用しつつ、窓を少し開けて、常に空気が入れ替わるようにします。
- ⑤人との距離を保つなど『**三密を避ける**』を**基本**に学校生活を行います。密集を避けるため、順番待ちの時間や、時間差が生じることをご理解ください。
- ⑥冷水器は当面の間使用しません。ご家庭で水分補給に必要なお茶を持たせてください。
- ⑦生徒や教職員に感染者が確認された場合は、速やかに下校させ、生徒並びに学校施設の安全が確認されるまでは登校を中止しますので、ご承知おきください。

ご家庭での健康管理のお願い

①基本的な生活習慣の維持

感染予防の基本として、免疫力を高めておくことが大切です。早寝・早起きをして良質な睡眠しっかりとることや栄養バランスのとれた食事等、**基本的な生活習慣を整え、健康に学校生活を送れるよう、ご家庭でもお取組をお願いいたします**。

②感染症対策の徹底

緊急事態宣言が解除後も、ご家庭においては、引き続き以下の基本的な感染症対策の更なる徹底に努めてください。

- ★ 3密（換気の悪い密閉空間、人が密集している場所、密接しての会話等）が同時に重なる場所を徹底して避けて、人との距離を常に保ってください。
- ★ 必要な用事以外の不要不急の外出は控えてください。
- ★ こまめな手洗い、咳エチケットを忘れずに実践してください。また、ご家庭でも定期的な換気や消毒を行ってください。（登校時は、マスク・毎日洗濯したハンカチを持参させてください）。

ご家庭でも、いろいろな場面で「新しい生活スタイル」の実践を!!

- 放課後等や休日に、お子さんが、または親子等で、公園等で過ごす時
⇒ 「すいた時間・場所を選ぶ」、「大人数で行かない」等
- お買い物に行く時
⇒ 「保護者お1人、または少人数で」「レジに並ぶときにスペースを空ける」等
- お食事の時
⇒ 団らん(ご家族や友人同士等)の場・意義も大切にしながら、回し飲み等は避け、密接や飛沫に注意する 等

<「新しい生活スタイル」実践例> (抜粋)

※ **京都市 新しい生活スタイル** で **検索!**

【共通の取組】

- 人との間隔は、できるだけ2m(最低1m)空けましょう。
- 会話をする際は、可能な限り真正面を避けましょう。
- 症状がなくてもマスクを着用しましょう。
- 家に帰ったら、まずは手や顔を洗いましょう。
- 手洗いは30秒程度かけて、水と石けんで丁寧に洗いましょう。
- 毎朝、体温を測定し、体調管理を。
- 遊びに行くときは、屋内より屋外を選びましょう。
- 帰省や旅行など、他府県への不要不急の移動は控えましょう。
- 特に、感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控えましょう。
- 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理を厳重に。

【娯楽、スポーツ等】

- 公園はすいた時間に行きましょう。
- ジョギングは少人数で。
- すれ違う時は、距離をとりましょう。
- 筋トレやヨガは自宅で動画を活用しましょう。
- 狭い部屋、施設での長居は避けましょう。
- 歌や応援は、十分な距離かオンラインで。
- 接待を伴う飲食店等の利用は控えましょう。

【公共交通機関の利用】

- 朝夕の通勤通学ラッシュ時の利用は控えましょう。
- 車内や駅構内等では人との距離を空けましょう。
- 車内等での会話は控えめに。
- 徒歩や自転車利用も併用しましょう。

【食事】

- 持ち帰りやデリバリーを利用しましょう。
- 大皿は避けて、料理は個々に。
- 対面ではなく、横並びで座りましょう。
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに。